

総務常任委員会との意見交換会 要録

(開始 19:30～)

振興課長 ただいまから第3回明宝地域協議会を始めさせていただきます。本日は欠席委員が5名である。それでは、地域協議会長からお願いします。

地域協議会長 第3回明宝地域協議会議ということで、皆さんお疲れの中お集りいただきありがとうございます。総務委員会の皆さんもありがとうございます。今日は、ざっくばらんにお話していただくとありがたい。このような会議を設けていただいてお礼する。明宝地域協議会のことについて知っていただき、アドバイスや応援をまたして頂けると思っている。今日は、良い意見交換会にしたい。あらかじめ質問をいただいているが、得意の分野の意見を委員に振り分けてある。それでは、会議を始めさせていただきます。

振興課長 早速、協議事項に入る。

地域協議会長 今日の協議事項は1つだけである。総務常任委員長から進行をお願いします。

総務常任委員長 本日は、貴重な時間を私達にさいっていただきありがとうございます。活発な意見交換をお願いします。郡上市の人口も4万人をきり、また人口減少のスピードも速い。これまで過疎地域に指定されていたのは明宝と和良のふたつであったが、法改正により、八幡と美並も過疎地域に加わり、南部の4つが指定を受ける状況である、そのようななかで、総務委員会としても地域の振興、持続的な地域活動を応援する立場から明宝の皆さんの活動を参考にしたいし、意見をいただきたい。先日、めいほうトンネル開通のセレモニーに出させていただいたが、小学生がこれで道の駅の喫茶店に行けるとか、習い事に行きやすいと話しているのを聞いて、明宝の皆さんの長年の、半世紀に渡る努力の賜物だと感銘を受けた。明宝のパワーを郡上市に広げられるように、学んでいきたいのでお願いします。それでは、順番に自己紹介をお願いします。

(総務委員、明宝地域協議会委員 自己紹介)

総務常任委員長 それでは、早速議題に入るが、それぞれの事前の質問に対してお答えいただきたい。始めに私から、人口減少によって空き家や耕作放棄地の増加、地域コミュニティの維持が困難になるなど多くの課題が生じていると思うが、課題や懸念されるものが何か教えてください。

地域協議会長	皆さんに振り分けているので、私から指名させていただくが、この件は私から。具体的な空き家に関しては、空き家部会を設けて話している。後ほど出てくるのでまた話があると思うが、すでにある空き家より空き家予備軍を視点に考えている。今後懸念されることは、私は小川だが小川地域でも危険な状況の空き家が街道沿いにも何件かある。人が寄らないので危険ではないが、見た目が悪い。空き家や耕作放棄地のことだけでないが、相続されていない土地が非常に多い。特に山林は道をつけようにも所有者の同意を取ることが難しくなる。せっかく地域に残ったのに、地域に住む人が何かしたくてもできないことが一番だめである。調べると、江戸時代のような人の名前も載っていたりする。何か法律なのか条例なのか分からないが、例えば課税を多くとるとか。相続をされず放置されるようことが問題だと感じる。
総務常任委員長	今日は空き家対策特別委員会の委員長もいるし、私たち委員全員も空き家対策の委員であるので一対となって取り組めればと思う。相続の問題は総務委員会の所管であり、預かって他の地域のことも踏まえながら検討させてほしい。次に総務常任副委員長からお願いする。
総務常任副委員長	第2次総合計画で地域協議会で検討された事項、空き家を増やさない具体的取り組み、移住定住における問題点、観光産業の見通しについて以上の4点についてお聞かせいただきたい。
地域協議会長	1つ目の総合計画について、当協議会のアドバイザーより説明する。
アドバイザー	昨年、郡上市の人口ビジョンが改定されたが、その内容をみると人口全体の減少もそうであるが、生産年齢人口の減少が大きな課題になっているということで、ビジョンの中で働く世代の人口をいかに安定させるかが重要視されていた。地域の活力衰退に繋がるので、地域協議会としては、ここをいかにくい止めたら良いかということでやった。まず、1つ目として新しい産業をつくって雇用を生み出して、経済の循環を高めていくためにはどうしたら良いかということ協賛した。2つ目には豊かな森や里山を生かした取り組みをどうつくりだすか、めいほうトンネルが開通した後の地域としての戦略をどうしたら良いかを協賛した。3つ目は、地域が主体となって進めるための役割をどうしたら良いかをこの3つから導きだされた意見を集約して、それを事業とか施策と結びつけて検討を進めた。前期の計画をもとにそれをブラッシュアップした流れである。
地域協議会長	続いて、空き家と定住について、協議会の部会長から説明する。
地域づくり（空き家・定住）推進	空き家対策については、当然今ある空き家の状況はまとめているが、今後空き家を増やさないということで、予備軍対策として今一人暮らしの高齢者の

進部会長

皆に考えてもらう場として、終活ノート、社協がやっていることだが、これに参加してもらったり、60代の1人の方にも建物を壊すシミュレーションをやってもらって、そのレポートをまとめて月刊めいほうに出したり、相続に何をしていけば有効かをやった。不動産に詳しい方を招いて、空き家に対してどういった取り組みが有効かをやった。去年はコロナで集まらなかった所以で部会でやった。講師の話では、司法書士とか建設業とか不動産取引のある方、いろんな方がチームとして取り組むことで、空き家予備軍に対する有効な施策ができるのではないかという意見をいただいた。こうした活動はまた続けていきたい。移住定住に関しては、クラブ活動、里山に関する活動も活発なため、それらを通して移住して明宝地域で活躍している方がみえ、そういう方に空き家を紹介したりしている。いろんな問題点として、単純に言うて八幡と明宝の空き家はかなり条件が違う。いわゆるまちやは商業施設として使われることがあるが、山村部の空き家はやたら広いとか、仏壇があったり、若者や单身者には広すぎるとか、田畑があつて草刈をしないとみっともないとか、あるいは子育て世代が越してきても、地元であれば親が預かれるが、なかなかそういったことができないなどが問題としてある。

地域協議会長

最後の観光産業の質問は、観光協会長から願います。

観光協会長

今後の明宝の観光の見通しについてお話したい。明宝の観光の核はスキー場であるが、これまでは冬だけであった。昨年度より、キャンプやジップライン、カヌーなどの設備がされて通年観光を目指している。四季を通じてお客さんがめいほうスキー場に来るようになっている。めいほうスキー場に人が来れば、明宝をラインで通るのでスキー場に人が来れば、明宝が豊かになる。めいほうトンネルが開通したが、20年前にお客さんを迎えようと植えた花桃が、今桃源郷のようになっている。今年、ドローンで撮影したので、来年早々に発信して、小川の花桃、國田家の芝桜とあわせての誘客を考えている。寒水の掛踊りが国の重要無形民俗文化財の指定を受けたので、明宝の宝として守って育てていきたい。そこからお土産も考えている。今年から、観光客の動向調査、モバイルアンケート調査をしている。正確な1人いくら使うとか、どこから何人で来たとか、年代などしっかりとした情報を掴んで、どこへコマーシャルをうったら良いか、今から力を入れていきたいと思っている。モバイルアンケートを見ると結構道の駅を目指してやってくる方がある。道の駅も、明宝の特産品を揃えようということで特色ある道の駅にしたいということで、ハムなど揃えているが、その中で明宝の問題点が、朝市の野菜を作る人の高齢化や獣害で野菜が作れない問題がある。郡上市で連携して何とかできないかと考えている。私が観光協会長になってから、道の駅、温泉に週で、ウィークデーとかをつくって夏ならトマトウィークとか、そうした事前の年間のカレンダーをつくって年間を通じて観光客に来ていただきたいと思っている。11月21日に、米マルシェを開催する。11月14日にお米コン

テストがあり、それが終わってから米マルシェをやる。そして、今一番力を入れているのが、以前議員と語ろうというところで、話をさせていただいたが、せせらぎ街道を紅葉ロードにしたいと思い、私達が 20 年、30 年後に残せるのは、自然の道路だといろいろ進めているがなかなか木を切らしてもらえないところがあるので、議員の皆さんの力を借りながら、少しずつでも夢に向かってやっていきたいと思っている。

総務常任副委員長 スキー場の通年の活用ですが、1 か月前にめいほうスキー場に行ってみた。キャンプをやってみえて、皆さんが楽しそうにやっていたので、これは良いことだと思って見てきた。去年か一昨年の紅葉ロード、自分も高田さんの話を思い出してみたが、明宝は夢がいっぱいあると思った。

総務常任委員長 それでは、公共交通について委員①からお願いします。

委員① 公共交通についての課題をお聞かせいただきたい。

振興課長 せせらぎ街道沿いの公共交通は、八幡バスが運営する八幡、明宝線、あとは寒水、気良、小川の国道から枝洞に入るところは、それぞれ自主運行バスが 1 日 3 便運行している。自主運行バスは、朝と午後 2 時ぐらいと夕方の便が運行しているが、自主運行バスがスクールバスの役割も果たしており、中学生の利用が多いのが特徴である。去年の利用者の実績は、全体で乗車した人数は、3,094 人でうち中学生の利用者が 2,734 人で 74%、高校生が 482 人で 16%、一般は 349 人で 11%であった。一般の方の利用が少なく、利用者も限られているのが現状である。その原因は、高齢者が元気で田舎なので運転しないとやっていけないということで、高齢者でも運転する方が多いこと、介護保険の適用を受けたり身体障がい者の方については、NPO 法人ふる里めいほうで福祉有償移送サービスを手掛けており、タクシー代の半額でやっているの、かなりそうしたものを利用していることがあろうと思う。自主バスのダイヤがスクールバスも兼ねているので、一般の方に使いやすいかは、またシニアの意見を聞いて進めたい。あと、地元の商店が後継者がいなくて廃業しており、道の駅を小さな拠点と位置づけしているが、地域住民の生活を支える施設の位置づけということで、道の駅の公共バスの乗り入れの実現に向けて取り組んでいきたい。今後の取り組みは、まだ現実的なことでないかもしれないが、平成 30 年に道の駅で自動運転サービスの実証実験を行ったが、こうした自動運転のシステムが今度視察にも行くが、福井県永平寺で実際に運行しているので、そういった自動運転システムがこうした地域に副うかも含めて勉強していきたい。また京丹後市で住民タクシーという制度、住民が会員登録して地域の住民を送迎するのをやっている。今、石徹白でやってみえるのかもしれないが。そういった住民タクシーというものが制度として成り立つかも、この地域協議会として検討している状況である。課題と今後の

	取り組みとしてお答えさせていただいた。
総務常任委員長	地域経済活性化について、委員②から願います。
委員②	地域経済活性化について、小さな拠点としての道の駅の役割と管理等の体制についてお聞きしたい。
地域協議会長	地域経済活性化推進部会長から説明する。
地域経済活性化 推進部会長	小さな拠点づくりとして、道の駅を防災機能の強化ということで災害時における避難所の機能をもたせるように、そうしたことを踏まえて避難所としての意識を高めた。高齢者の日常の買い物支援として、最初はバスを乗り入れて、道の駅をコンビニ化みたいになれば良いと思っていたが、なかなか進まない。でも、日常生活に必要なものを道の駅に徐々に揃えていただいて、八幡に行かなくても買い物ができるようにしている。明宝においても商店が数少なく、10年後にはという感じである。もっと道の駅を強化していかなければいけないと思っている。農泊体験施設として多目的トイレをつくらせてもらった。それに伴い物産館の2階に体験施設をつくった。インバウンドのメニューをつくっていたが、コロナで動かせていない。普通に体験できるメニューづくりをしていきたいという思いがある。管理体制は、観光協会も今では道案内だけをするのではなく、もっと地域を売る、商品を売るということをやっていききたい。そのためには、組織づくりが必要である。道の駅、NPO、一般社団法人などいろんな団体が一本になれば、よけい発信力が強くなる。難しい問題があるが、今年検討委員会を発足し、3年後を目標にあげて動き出したところである。それが実現すれば明宝版DMO、もっと地域を売って稼げる明宝になると思っている。
委員②	夢のある話を聞いた。ぜひ、明宝版DMOを実験していただいてモデルをやっていただき、それをみてまた他の地域でもできるということがあると思うので頑張っていたきたい。
総務常任委員長	次に委員③から願います。
委員③	地域対抗運動会を明宝地域ではやっているが、そのエネルギーは何処から来るのか。大変うらやましい行事である。それから、気良歌舞伎の今後についてお聞かせいただきたい。
地域協議会長	地域運動会のことは、公民館長より願います。気良歌舞伎は座員から願います。

公民館長	2年に一回の運動会ということで、昔は各地域でやっていたが、今は少子高齢化で集まることがなくなった。保育園や小学校、中学校は、親が行くところで、年寄りだけ家に残される。子供が家族にいないので運動会に行けないといったことがあり、人をもっと寄せてやったほうが良いと始まった。私が公民館長になって運動会の開催にあたっては、明宝地区内の各商店に景品のお願いをした。商品が結構集まったら人が寄った。参加賞も用意した。祭りごとはおもしろいことをやらないかんということで、種目を選び年寄りも参加できるようにした。白鳥の那留や大和の運動会の種目の情報を集めて、ケーブルテレビなども見てやった。スポーツ推進委員にも協力してもらい、人を集めた。2年に1度やっていたが、去年はコロナで中止した。年寄りから子供まで集まってできるのは祭りと運動会だけである。物も知恵をしぼってやる。終わったら地域に帰って一杯やる、それが良い。これからも楽しくできるようにと思っている。
気良歌舞伎座員	気良歌舞伎は、活動自粛を皆がしていたが、なんとか何かできることはということで、映像配信などを行ってきた。去年はクラウドファンディングして100万円集まった。緊急事態宣言で9月にやる予定だったのができなかったが、また12月に映像配信をやらせてもらう。時期がずれてしまったが、また公演はさせてもらいたいと考えている。気良歌舞伎は、映像配信をしており、何とか続けている状況。来年に向けて明宝歴史民俗資料館の講堂で練習している。なんとか、明宝歴史民俗資料館の宣伝もそこで兼ねてできないかと取り組んでいるところである。
委員③	白鳥でも那留地区で運動会がされているが、あれは子供が少なくて運動会が早く済んでしまうので、盛り上げようと小学校の運動会のあとに地区運動会をやるようになったが、明宝の運動会は少し違い、盛り上げる温度も違う。保育園から高齢者まで全員が参加してできるという地域の催しはなかなかない。明宝全体をまとめる大きな行事である。
総務常任委員長	委員④より願います。
委員④	美並にはNPOもないし、ボランティアもない。明宝地域協議会では、部会活動に取り組まれているが、部会の設置はどの様に検討されて決められているのか。部会活動の運営はどのようにされているのか。また、協議結果や調査研究したことは、市に対してどのように伝えられているのか。
地域協議会長	1つ目は、地域協議会副会長①から説明する。
副会長①	地域協議会にはいま3つの部会がある。これを決めた理由は、特に地域の課題、推し進めていきたい課題から3つに絞った。空き家と小さな拠点部会に

関しては最初からずっとそれが課題で、1年では結果がでてこないということで長年やっている。産業振興活性化推進部会は、それぞれの年度で、どのテーマにしようかと部会メンバーで話し合っていて決めている。去年は観光産業についてやった。年度初めに決めている。メンバーは各所属で、関わりのあるメンバーややってみたいというメンバーで部会を構成している。去年だと産業活性化部会で検討した内容を今年提言書として地域協議会でまとめたものを明宝観光会長に提出したという進め方をしている。

地域協議会長 市に対してどのように伝えられているかは、地域協議会副会長②から願います。

副会長② 地域協議会で協議した結果や問題は、令和元年に市長へ要望書として出させていただいたことがある。保育園が今建っているところが危険なところなので、老朽化とあわせて建て替えをお願いしたいと要望書として市長に提出した。これからもそういったことが起きた場合には、文書にして要望書として市長に提出したい。

委員④ 副会長①が明宝観光協会長に提言を出すと言われたが、それを明宝観光協会長はどうしているか。

観光協会長 提言を受けたものを理事会で話して、それに向かって進めるようにやっている。

委員④ 美並の地域協議会では、特別に事業をやっていないくて、以前私も協議会の幹部を呼んで直接話をさせてもらったこともある。美並も課題はたくさんあるが、それをやろうと思うとやる仲間が集まらなと聞くので、その辺が明宝とか和良が活動をやってみえるので活動を参考にできないかと思っている。やはり、NPOなど核となる団体が必要だと思う。美並も観光もあり、ラフティングは人がたくさんくるが、漁協との兼ね合いもあってなかなか表面的には難しいこともあるし、やろうと思ってもなかなか上手いかなくてとっかかりが難しい。皆さんの活動を参考にしたい。またいろいろお話をお聞かせいただければと思う。

総務常任委員長 私達からの質問事項に丁寧に答えていただきありがとうございます。ひととおり答えていただいたので、ここからは皆さんから意見を頂きたい。頂いた意見は、3つ委員会があるので総務の所管外のことは所管の委員会に伝えたい。地元議員にも相談しながら、皆さんの力になりたいと思っているので、自由に発言をお願いします。

地域協議会長 今回の議題以外に、明宝で議題や課題があればとのことであるので、何かあ

れば願います。今、小川の方で小水力発電ができないかと会社をつくって進めているが、中部電力と契約をするために膨大な費用と期間がかかると中電から回答を頂いているところだが、いろいろ制度の変更の情報もあり見通しがつかない現状であるので、現時点では要望のしようがない。

総務常任委員長 この前、市長とお話された時のことか。

地域協議会長 その時は、まだ制度変更に関する情報がなかった。中電の話では、岐阜県のある場所がもう容量がいっぱいなので、そこを増やさないと契約ができないとのことだったが、そこを工事しなくても契約できるような制度変更の話もあるようで、そこがまだはっきりしていない。今いろいろ調べているところだが、実際そこを工事しようと思うと、できるのに期間が6年で20億円かかるとのこと。そこができないために、岐阜4区ぐらいのエリアに影響がある状態である。今は契約ができない状態で決まらないので、要望のしようがない現状である。

総務常任委員長 小川地域だけのことでなくて、エネルギーのことで市全体に関わるので状況を確認して、変更の状況なども見ながら、地元議員とも相談しながら、どういったことを応援できるかを検討したいし、研究テーマとさせていただきたい。また情報があれば、提供して頂きたいので願います。

公民館長 以前、議員と話す会の時も話をさせてもらったが、文化を継承せよ、若い人を育てよということで、祭りの話であるが、祭りで使う紙が高くて1枚32円、33円とかする。毎年、祭りの花を作り替えてそれで予算を結構使う。7地区あるので、その予算を振り分けてもらえないか。一度話だけしてもらえないか。

総務常任委員長 花を作ることか。

公民館長 花を作ったり、祭りの道具を付け替える。毎年作り替えている。前、この辺では紙が売っていないくて、王子製紙から取り寄せたこともあった。今は大手町の紙屋に買いに行くが、小さい紙しかないので取り寄せてもらっている。

総務常任委員長 補助の仕方とか、知恵を要するようなこともあるので、文教とも関わるので意見を持ち帰らせていただく。

委員① 八幡の祭りとかで神楽を直したりなどに、市が出している。市は、お寺とかお宮には出せないが、地域の文化伝承とかの事業で過去に予算を組んだことがある。お祭りはどこの地域でもあることなので、そういうものを一度まとめて、備品について教育委員会の予算になると思うが、そういうことができ

ないかとかを、一度所長さんの会議でまとめてもらえないか。教育委員会と相談してもらおうと良い。

委員②

新調する事業はあるが、消耗品の今の話はどうかかなぁと思う。紙はどこで調達してみえるのか。美濃市ならもっとあるのではないか。

公民館長

紙は大手町で買っている。普通の紙屋さんには無くて取り寄せたりする。1回、大和か白鳥でもその紙がなくて、寒水に借りに来たこともあった。紙の種類が違うので、四苦八苦したことがある。直近になって買いに行ってもだめなので、祭りが終わったらすぐ補充するようにしている。

総務常任委員長

1回、どういうやり方ができるのかとか、市全体でどれくらいいるかも、いろいろ関わってくるので、一度私どもの委員会も地域のコミュニティで関わってくるので、1回確認してみる。研究対象としてみたいのでお願いします。

地域協議会委員A

先月末に、明宝地域の秋まつりをスキー場でやらさせていただいたが、ステージをつかってやったが、その裏側が2年ぐらいの雨で崩落している。ほかっておくとその施設自体にも影響があるのでないか。手つかずになっているので、早いうちに何とかしてもらえないか。

総務常任委員長

伊藤所長が現状を把握してみえると思うので相談しながら、対応させていただく。

副会長①

この前の選挙で当選された方がおっしゃっていたが、田舎こそデジタル化を強力に進めるべきだと。例えばお年寄りの買い物支援であっても買い物に行かせるのも大事だが、そういうものを使って配達をしても。使いやすいデジタル化というか、そういったことも含めて市で率先してやっていくような施策をやっていただくとありがたい。インフラ整備もあると思うが、委員の知恵でなんとかできたらと思うのでお願いします。

総務常任委員長

岸田総理がデジタルを使った地域の活性化を所信表明で、地域活性化のメインで話している。来週東京に要望に行く。国でも5Gを進めている。国からそうした予算を使ってはどうかと勧めてくる。中山間地域にこそそういったことが生きてくる。いろいろな課題に対して、生きてくるということがあると思うので、郡上という地域こそそういったことが大事であると思うので、私たちもそうした問題意識をもって取り組みたい。時間になったので、最後ではないか。

(な し)

総務常任委員長 | それでは、これで終わりとしたい。私どもも勉強させていただいた。資料で明宝の人口の推移が配られているが、どこも人口減少が続いているが、以前鈴木前副市長が指導してくれたが、明宝の高田学校といって高田村長が人を育ててきてくれたとおっしゃっていて、確かに人口減少していくが原動力は人である。人材がやはり大切でそうした視点で私達も進めたい。皆さんから頂いた意見を他の委員会や地元議員にも共有しながら、皆さんの力になりたい。お役に立ちたいと思っている。今日はありがとうございました。

(終了 21 : 10)